

関西学連第2回定例戦 in 希望が丘

平成26年10月26日 滋賀県 希望が丘文化公園

横田実

近畿でも有数のトレインである希望が丘文化公園。今回は、ここの微地形を使って、どんなレースが繰り広げられるか…

学生運営の定例戦

学生連盟による定例のオリエンタリング大会が、関東でも関西でも何回も行われています。関西では、主に2回実施され、今回はその2回目。今年入部の学生による新人戦も兼ねていて、多くの学生も参加しています。

トレインは、希望が丘。ここは、公園でありながら微地形の山間を有しており、初心者から上級者まで楽しめる近畿でも有数の場所です。僕も、何度も苦しめられたところで、今回も撃沈してしまいました。



スタートの様子

細かい地図に目が！

今回のMASの地図が右のもの。北部の山の中に入ると、やはり細かい地図読みが要求されるレグが続く。沢や尾根を伝って行くのが常套手段なのだが、なんせ細かい沢や尾根が多く、すぐに読み間違えて、さんざんな目にあってしまう。

地図が1:10000で、最近目がついていけないのが重なって、地図読みにも四苦八苦。そろそろループが必要かな？

最後のダッシュも

このコースでの最後の見所は、フィニッシュまでに設けられた円上の芝生広場まわりの丘を駆ける場所。全員から見られるコースになっていて、ダッシュをせざるを得ない。

レース後に復習

今回は、うちの中学生の生徒もBやNで参加したのですが、それでもきちんと回れなかった子がいたので、事後に主催者の承諾をもらい、Nクラスを再度回らせてもらいました。時間があれば、MASとか山の中もしたかったのですが。

地図を見るだけではなく現地でのイメージといかに合わせるかが大切ですので、ありがとうございました。



表彰式の様子

主な成績

